

授業科目	嚥下障害Ⅳ (チームアプローチ)				
担当者	大塚佳代子・永野彩乃・橋本ちひろ・松岡俊哉・森田婦美子・余川ゆきの・中村靖子・他				(オムニバス)
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学 年	2年	総単位数	1単位
		開講時期	後期	選択・必修	必修

■ 内 容

- ・カニューレの構造や役割について学ぶ。(中村)
- ・摂食嚥下リハビリテーションに必要な知識と技術を演習を交えて学ぶ。気管切開患者の嚥下・発声発語障害の訓練法を学ぶ。(大塚)
- ・チームアプローチを行うにあたり多職種の業務内容を知り、連携内容について知る。(永野、橋本、余川、松岡)
- ・吸引について学ぶ。(森田)
- ・リスク管理について学ぶ。(講師非公表)

■ 到達目標

臨床上必要な知識を身に付け、手技を実践できるようになる。気管切開患者の嚥下障害と発声発語障害について理解し、訓練方法を学ぶ。(大塚、中村)

管理栄養士が行う業務内容と連携時に必要な知識を理解する。(橋本)

歯科衛生士が行う口腔リハビリテーションについて知識を得る。(余川)

看護師が行う業務内容と連携時に必要な知識を理解する。(永野)

摂食嚥下障害に必要なポジショニングについて理解する。(松岡)

吸引についての大枠を理解する。(森田)

言語聴覚士に求められるリスク管理について理解する。(講師非公表)

■ 授業計画

- 第1回 カニューレの構造・役割・種類と取扱いについて (中村)
- 第2回 気管切開患者の嚥下障害と発声発語器官障害 (大塚)
- 第3回 気管切開患者の嚥下障害と発声発語訓練 (大塚)
- 第4回 内科的疾患と口腔ケア～動画を用いて～ (余川)
- 第5回 基本的な口腔ケアの注意点と手技 (機能的口腔ケア実習) (余川)
- 第6回 栄養管理について (橋本)
- 第7回 嚥下食や治療食、食形態について (橋本)
- 第8回 ナースがSTに期待すること (永野)
- 第9回 チーム医療について (リハ栄養を例に) (永野)
- 第10回 摂食嚥下訓練時のポジショニング (松岡)
- 第11回 吸引の技術と目的根拠の理解及び手順の理解 (森田)
- 第12回 吸引の演習① (森田)
- 第13回 吸引の演習② (森田)
- 第14回 リスク管理① (講師非公表)
- 第15回 リスク管理② (講師非公表)

■ 評価方法

筆記試験 100%

■ 授業時間外の学習 (予習・復習等) について

適宜授業中に指示する。

■ 教科書

書名：発声発語障害学
著者名：藤田郁代
出版社：医学書院

■ 参考図書

書名：摂食嚥下ビジュアルリハビリテーション
著者名：稲川利光
出版社：Gakken

■ 留意事項

新型コロナウイルス感染症対策や不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する場合があります。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況や入構禁止等の措置を講じた場合は、評価方法を変更することがあり、評価方法を変更する場合には、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。

■ 講義受講にあたって

演習の多い講義です。積極的に参加してください。